

人形町

VOL.120
夏号
Ningyocho
2011



[特集]「向田邦子さんと人形町」

没後30年。エッセイを辿りながら、人形町を歩く。

[CLOSE-UP]「人形町観光ガイドマップ(日英版・日中版・日韓版)」発行!

人形町 VOL.120 夏号 Ningyocho 2011

平成23年6月1日 通巻120号 発行/人形町商店街協同組合 東京都中央区日本橋人形町1-18-9 ☎03(3666)3064
題字/橋石女次 表紙イラスト/森本サング 編集制作/(株)スタジオクレーン 印刷/真リンスナム(株)

人形町つれづれ日記 よし町 花柳界の変遷

文・有田芳男



江戸時代が始まって30年ほど過ぎた寛永11年(1634)に、今の人形町交差点の西側に江戸随一の歓楽街がオープンしました。8000坪の広さの中の、人形町通りよりの塚町に中村座、親父橋寄りの葺屋町に市村座という、歌舞伎の一座が出来た。歌舞伎発祥の地となりました。この歓楽街の中には、操り人形座、浄瑠璃芝居、せきよう芝居、芸づくし、見世物小屋などが、大勢のお客様に人気を得て、連日の様に賑わい、天保の改革まで207年もの間、江戸の城下町・人形町が栄えておりました。ここでは浄瑠璃の伴奏で歌舞伎は上演されます。この中の三味線を奏でる人は男

性も女性もあり、芝居があがったあとの芝居茶屋での宴会にも三味線弾きは必要です。この中の女性達は人形町の近くに住んで、芝居小屋に通うのに、なくてはならない人達になり、これがよし町芸者衆の生い立ちとなって行きました。

当時、人形町の「よし町芸者衆」は、東京をはじめ各地からの客を集めて、大変な賑わいでした。しかし、昭和33年3月31日に売春防止法が可決されて、日本中の花柳界は大変な事となって、大改革を考へなければならぬ時が来たのでした。



よし町見番前にて

当時のよし町には、出先の料亭待合は150軒、芸者家は約180軒、芸者衆約450人で、東京でも1・2位をあらそって、いました。20年たつて、出先の料亭は17軒、芸者家64軒、芸者76人と、昭和51年1月1日発行の「よし町連名簿」に記録されています。

一人の芸者が誕生するには、一年も二年も芸者家に入って、その女中さんと共に家の事を手伝いながら、唄や踊りのお稽古をはじめ、芸者としてのすべてを諸先輩のお姐さん達の前で試験を受けるのです。

目出度く合格すると芸者となる総ての物を揃えるのです。大安の日を選んで「おひろめ」の挨拶を見番の箱屋さんに連れられて、一日掛りですべての「お出先」をあくるのです。そしてその日から、念願の「お座敷」づとめが始まるのです。

向田邦子さん



人形町商店街協同組合は応援しています。
人とセラピードッグの心のふれあい。

ホームページ「人形町」 <http://www.ningyocho.or.jp/>

向田邦子さんと人形町

1981(昭和56)年8月22日、その日、向田邦子さんは台湾への取材旅行のため搭乗。飛行機は台北を離陸して10分後、上空を巡航中に突然空中分解し、山中に墜落した。それは今から30年前のこと。当時、彼女は51歳。突然の死だった



写真提供/有田芳真

1969(昭和44)年10月19日の人形町通り。今から42年前まではまだ都電が走っていた。向田さんが人形町を訪れた時は、こんな風景だったのか。

向田さんの「人形町ぶらぶら歩き」を行く。

「人形町の素顔は裏通りにある。どの路地も掃除が行き届き、出窓や玄関横にならべられた植木は手入れのあとがうかがえる。竹垣には洗った下駄が白い生地を見せて干してある。(中略)この町の路地は実に清々しい。どの路地にも四季があり、陽が上ると起き、目いっぱい働いて夜は早目に仕舞って寝る律儀な人間の暮しを見る思いがした。」

——町の印象について、向田邦子さんは、「人形町に江戸の名残を訪ねて」で、こう書いている。



今も昔も変わらない路地風景

美味しいものが大好きで、好奇心旺盛な彼女。おしゃべりが大好きで、黒ぼつかり着て「クロちゃん」と呼ばれていた彼女。猫好きな彼女…と、自分が好きなものとことん追求し、妥協しないライフスタイルを貫いた女性だった。

日本橋の出版社に勤めていた向田邦子さんは、女性誌の取材で勤め先の近くである人形町をルポしている。それは、『女の人差し指』の中の「人形町に江戸の名残を訪ねて」というエッセイに書かれている。

今回はこのエッセイを辿りながら、実際に向田邦子さんが取材で訪れた人形町のお店、町の佇まいをルポしてみることにした。もし、かしたら町の片隅で、彼女の面影に出会えるかもしれない。



『女の人差し指』(新装版) 文春文庫 600円(税込)

お詣りの帰りは、ゼイタク煎餅「重盛永信堂」へ立ち寄るのが順というもの。

間口の広い角店だが、店構えはみやげもの屋に徹した気取りのなさにある。(中略)乗物に乗ってお詣りにゆき、おみやげを買って帰る小半日の遠出が、何よりの保養であり、贅沢だったのだろう。そう思って、この人形焼を口に入れると、幼い頃、親戚のおばあさんが、信玄袋から出してくれたおみやげの味がしてくるのである。

「向田さんは、聞き上手な人だった」

ゼイタク煎餅「重盛永信堂」のご主人である重盛永造氏は、向田邦子さんの印象について「実に穏やかな人だった」と語る。当時、彼女は人形町の商店街の理事(現理事長)をしていたご主人に、お店のこと、町のことを取材に来たのだ。当時、私は35歳ぐらいで、血気盛んな若手の代表として、町の活動について話しました。二方向的に話す私に、ニコニコされながら聞いて

て、「元気な方」と穏やかな笑顔で言われたのを憶えています」と重盛氏。取材では、路地文化の話や粋な町・人形町のエピソードを語ったという。身長153cmと小柄な向田さん。「ヒールを履かれていたのでしょうか、そうは見えませんでした。すらっとしたスタイルの良い女性でしたね」



3代目 重盛永造氏



6月〜9月までは「うちわ」、9月下旬から10月下旬にかけて「松茸」の季節限定の煎餅を販売。1袋売り80g・300円。売切れ御免なので、急いで!

「重盛永信堂」
人形町2-1-1
TEL: 03-3666-5885
営業時間: 平日 9:00〜20:00
土曜・祝日 9:00〜17:30
定休日: 日曜(大安、戌の日は営業)

「壽堂」で、
人形町の「あきんど」の姿を見た。

卵の黄身を加えた白餡を肉桂を利かした皮で包み、串に通して焼き上げた目保ちのいいもので、一個百円は当節お値打ちといえる。(中略)店内を見渡すと、これが、東京でも数少ないという、坐売りなのである。

「二人でぶらりと
入ってこられました」

「私より2歳ほど上だったでしょうが、ござっぱりした方でしたね」と、壽堂ご主人・杉山浩氏は、向田さんがルポで訪れた当時の雑誌を見せてくれた。それは昭和37年とある。その後、店内で30分ほど、お店のことだけでなく、人形町の



由来はじめ風情ある町の話をしたという。たとえば「日本橋川が流れる日本橋と、人形町では、同じ日本橋でもテリトリイが違う。日本橋は大店が多く、人形町は小店が多いとかね」。今から50年ほど前のことだから、町の装いは今と大きく変わっていたのであろう。当時、この界限には、東京でも数少ない砂糖だけの量り売りの店があった。「女の人差し指」にもそのお店のことが詳しく書かれている。「他にも醤油も量り売りで売っていたお店もあったんだよ、お客さんは一升瓶持つてきて、入れてもらったものだよ」と、今では想像できない、当時の様子を話してくれた。

袋が面白い!「四季精果録」というものであり、春から冬の季節のお菓子を載せており、明治30年頃のこの店の菓子目録を採録したものだ。「黄金芋」は、50年前は「1個百円は当節お値打ちといえる」とエッセイに書かれている。今は1個190円也。



ショーケースの向こうは一段上がった板張り、今も膝を折り、手をつけて折り目正しくお客様に対応をする、坐売りスタイルだ。



四季折々のキレイな菓子の数々



「黄金芋」は見た目には、焼き芋そっくりのお菓子。



「壽堂」
人形町2-1-4
TEL: ☎ 0120-480-400
営業時間:
平日・土曜 9:00~20:00
日曜 9:00~17:00
祝日 9:30~17:30
定休日: 無休

創業1884(明治17)年、風情ある佇まいの店内は、今も変わらずの「坐売り」だ。「膝を折り、畳に手をつけて折り目正しく客に対応をする」と向田さんのエッセイで書かれている。江戸の昔から「随一の商業地」といわれた人形町の「あきんど」の姿を見たとき……

「女の人差し指」が発刊されて以来、ファンの方が多くお店に訪れるという。「北海道から観光に来た方が本を読んでもうちにきてくれたり……。向田さんは聡明な方だったんでしょね。文章も読みやすく、女性だけでなく男性にもファンが多かったようですよ。うちにも男性が多くみえますよ」

時代は変わっても、このお店は変わらない。時間がゆっくり流れるなか、ご主人の横で穏やかに話を聞く向田さんの姿が、そんな錯覚が何とも心地良いのだ。



5代目 杉山浩一氏

うという抽斗

——「う」は、うまいものの略である。この抽斗をあけると、さまざまの切り抜きや、葉が入っている。(中略)仕事有一段落ついたら、手続きをして送ってもらいたいと思っている店のリストである。(『霊長類ヒト科動物図鑑』より)

整理下手を自認する向田さん。「この抽斗だけは別」と誇りにしていた「う」の抽斗には、日本中北から南まで、特産品や老舗の味のリストがぎっしり詰まっていた。無類のおいしいものの好きの彼女らしい一面が垣間見れる。



『霊長類ヒト科動物図鑑』
文春文庫 570円(税込)

甘酒横丁

今も昔も変わらない 「甘酒横丁」

「人形町通りから明治座へ抜ける道を甘酒横丁という…」と向田さんのエッセイにも登場してくる通り。

その由来とは——そもそも明治の頃から、この横丁の入口に「尾張屋」という甘酒屋があった。

この界限には水天宮様をはじめ久松町には明治座、近くには「末廣亭」「喜扇亭」「鈴木亭」の寄席が客を集めており、穀物取引所の米屋町、日本橋の川岸一帯の魚河岸、兜町の証券取引所が隣接しており、町は大変賑わっていた時代だった。

そんななか、人々は「尾張屋」で二服を楽しみ、疲れを癒した。タクシーに乗っても「人形町」ではなく、「甘酒屋の横丁」の何処そこ…と言えば、すぐ分かったという。これがのちに「甘酒横丁」と呼ばれるようになった。



散策中に、製作工程を垣間見るも、 また楽し。「つづら岩井商店」

「岩井商店」のつづらは注文が殆どで、今から頼んでも出来上りは秋になるそうだが、ズラリとならんだつづらに次々と黒うるしを塗り、天井にぶら下げて乾かしている風景は、ガラス戸越しに拝見するだけで楽しくなる。

甘酒横丁を歩くと、ガラス越しに、天井にぶら下げてあるつづらの数々が見える。ここが向田さんのエッセイにも書かれている「つづら岩井商店」だ。戦前は関東で200軒ほどあったつづらの専門店も、今では全国で3店舗、都内ではここだけ。すべて手作りのため、注文から納品までは、3ヶ月掛るといふ。つづらは軽く丈夫、通気性も良く



甘酒横丁の入り口、 今は「玉英堂」

明治の頃、この横丁の入口に甘酒を売る店があったというが、今は和菓子店、「玉英堂」で、売りものの玉まんとならべて、バックになった甘酒を売っている。

もともと京都三条大橋のたもとにあつたという「玉英堂」が、その地に移転したのは、昭和29年。それ以前は、この場所には「尾張屋」という甘酒屋があった。そして、ここで開業にあたって、交わした約束が「甘酒」を置くことだった。和菓子屋であるにも関わらず、当時の約束は50年以上経つた今もしっかりと守られている。

店内には、向田邦子さんが「最良だった「玉饅」が今も並ぶ。正式名は「お宝饅頭」。「見、真っ白で普通のお饅頭のようなが、中を切ると、5色の層になったキレイな餡が見えてくる。連絡をすれば、皮と餡の色を変えて、慶弔用にも調製可能だ。



「玉英堂」
人形町2-3-2
TEL: 03-3666-2625
営業時間: 9:00~21:00
(日曜・祝日は17:00まで)
定休日: 第3日曜日

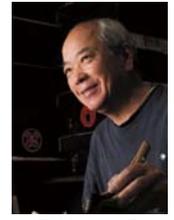


「玉饅」1個650円

「あまぎげバック」
800円

防虫効果が高い。通常は着物の収納に使われているが、最近は見ただ目の美しさからインテリアとしても人気だ。店内で製作しているのは黒・朱赤・溜色(茶)の3色。大きさは8種類あり、10,000~47,000円まで。

「つづら岩井商店」
人形町2-10-1
TEL: 03-3668-6058
営業時間: 9:00~18:00
定休日: 日曜・祝日



4代目 岩井良一氏

「ばち英」 三味線の音色に誘われて、

甘酒横丁の角に、1916(大正5)年から約90年にわたり、伝統ある技術を守り続けている三味線の「ばち英」がある。店内では、部品の組み立て、張り替え(製作・修理)、販売、調律を含むアフターサービスまで行っている。

「三味線の胴は桑の木の方が粋」というのは、「桑の木の方が音色がやわらかくなるから」と3代目主人。さらに「当時は、町に文人はじめ政治家などが数多く訪れ、料亭に通っていた。彼らがおいしいものをお土産として持ち帰り、この町の食文化が栄えていたんですよ。今とは人の流れも大きく違っていたんでしょうね」と花柳界が盛んだった時代のことを話してくれた。



「ばち英」
人形町2-10-11
TEL: 03-3666-7263
営業時間: 9:00~19:00
定休日: 日曜・祝日

「ばち英」は、ばちに限らず、三味線の製作修理専門の、これも古い店。(中略)三味線の胴は普通はかりん木だが、四畳半向きの小唄用には桑の木の方が粋とされるそう。何やら粋な音メが聞こえてくるようで、無芸がいささか恥ずかしくなった。



座敷で昔ながらの洋食を味わう 「芳味亭」

(中略)ここまで歩くとおながすいてくる。やはり裏通りの洋食屋「芳味亭」でコロッケとごはんもよし……

人形町の裏通りに風情ある建物がある。向田さんも数策の途中、または仕事柄よく訪れていた明治座の帰りに寄つたという「芳味亭」だ。創業は1933(昭和8)年。彼女もまたこのコロッケがご鼠買だった。15歳からこのお店で修業し、46年目を迎えるコック長は「親子3代で通つてくれるお客様もいます。『変わらない味で、おいしいよ』と言ってくれるのが、何より嬉しいです」と語る。



ミックス肉コロッケ1,000円。ホワイトクリームが詰まった、ふっくら柔らかいコロッケ。トマトベースのオリジナルソースに、自家製ソースをミックスして召し上げられ!



「芳味亭」
人形町2-9-4
TEL:03-3666-5687
営業時間:11:00~14:00 (L.O)
17:00~21:00 (L.O)
定休日:日曜

人形町へきて「魚久」へ 寄らないのは片手落ちであろう。

魚の京粕漬だが、甘鯛、いか、まながつおは勿論、平貝、たらこ、車海老までならんでいる。(中略)味に自信があるのだから、切身は必ず水洗いして、かすを取って焼いて欲しいという。その通りに見てみると、実にいい味である。



銀鯛2きれ/鮭2きれ、
いが(M)1まい、ほたて
貝2粒 3,990円

現在の「魚久」の京粕漬は、ぎんだら、さけ、さわら、真鯛から、ほたて貝、平貝、えびいかなど、向田さんが買い求めた時とは、かなり種類も多くなっている。そして粕漬は、「必ず水洗いして、かすを取って焼く」、その調理法は当時のまま。やはり味に自信があるからだ。本店2階「イートイン」では平日のお昼だけ粕漬定食が味わえるとあって評判だ。



「魚久」
人形町1-1-20
TEL:03-3666-3848
営業時間:月~金曜
9:00~19:00
土曜 9:00~18:00
定休日:日曜・祝日

産毛も剃れる、切れる、抜ける しやれた名前の刃物専門店「うぶげや」

人形町ぶらぶら歩きのおしまいに、私は「うぶげや」に立寄った。産毛も剃れますという、しやれた名前の刃物専門の店である。(中略)わが台所の、いささか手入れのよろしくないナマクラ包丁を恥じながら、柳刃と鯨切りを求めた。

「ここに来ると、ほっとします」とよく言われましたね。

「うぶげや」は、日本で初めて裁ちバサミを製造・販売した刃物店だ。今から50年ほど前、向田邦子さんは初めてこの店を訪れた。「一人でお見えになりましたよ。お店に入つていらした途端に、周りの雰囲気さわやかに感じたのを憶えています」と語るのには「うぶげや」7代目の大女将。気取らず、自然に、今も変わらずにあるイスに腰かけられて、お話ししたという。

当時、お店の前には都電が走

り、隣には末廣亭があり、ビルもない、風情ある町だった。「町並みが今とはだいぶ違ってましたね。当時は量り売りしていた乾物屋さんがあり、そこに向田さんはよくいらしたとお話していたらしゃいました」

その時、「うぶげや」で柳刃と鯨切り庖丁を求め、切れ味がいいと気に入った彼女は、次に訪れた時は皮むきを購入したのだった。

「しばらくして、和子様(向田さんの妹さん)から御本とお手紙が

エッセイで庖丁を購入したのは、「切れない包丁を口実に、お刺身を買うときもサクで買わず、作ってもらっていたのがきまり悪くなったからである」とある。

●向田さんが、切れ味がいいと購入した庖丁



伝統と技術は9代に受け継がれる。今年大学を卒業した矢崎大貴さんは、中学生の頃からその道を決めた。今は江戸由来の伝統技術を継承するため、8代のもとで修行中だ。

届きました。、鉛玉でもしゃぶりながら、お読みください。」と添えてあり、本当に鉛玉が入っていました(笑)。和子様がお書きになった「向田邦子の恋文」という御本なのですが、邦子さんの秘めた恋がそこに書かれていて、とても素晴らしい御本でござました」と懐かしげに話してくれました。



7代目の大女将

「うぶげや」
人形町3-9-2
TEL:03-3661-4851
営業時間:平日 9:00~18:00
土曜 9:00~17:00
定休日:日曜・祝日



人形町MAPが、新しくなりました! 人形町観光ガイドマップ

Shop List
人形町商店街
協同組合加盟店
一覧リストと
人形町MAP

人形町の名物・土産
美味しいものあり、粋なものあり! 人形町ならではの名物がいっぱい。
お土産の参考に
にして!

人形町の名物・土産
SPECIALTY OF NINGYOCHO

下町情緒漂う人形町には多くの外国人が遊びに来る。今回の人形町MAPはそんな彼ら向けに、日本語と英語・中国語・韓国語を併記した「日英版・日中版・日韓版」の3種類を作製。中面にはお店一覧を掲載し、さらに観光ガイドとして、散策コースやお土産紹介、イベントなど、人形町の情報を盛り沢山でご紹介。きっと人形町に遊びに来たときに役立つはず。

今号ご紹介の
* 人形町マップ *

- A 重盛永信堂
- B 壽堂
- C 玉英堂
- D 岩井つづら店
- E ばち英
- F 芳味亭
- G 魚久
- H うぶげや
- I 健ナビ薬局人形町
- J Body Sign (ボディサイン)

- a 明治座
- b ロイヤルパークホテル
- c 大観音寺

第57回「せともの市」開催

昭和29年から数えて、今年で57回目を迎える名物市「せともの市」。毎年たくさんの方が訪れます。

- 期間：8月1日(月)・2日(火)・3日(水)
- 時間：9時～21時
- 場所：人形町通り一帯



人形町オリジナルTシャツ販売のお知らせ

季刊誌の表紙でお馴染みの森本サンゴさんのイラスト入りTシャツです。「花火」:サイズはXS～Lまで。



■ お問い合わせ:
人形町商店街
協同組合
☎03-3666-9064

味処

●日本料理・酒処

- ふぐあき (3666) 0820
- すし・天ぷらあき (3662) 5555
- 酒家 いかだ (5695) 1173
- 割烹 魚久 (3666) 3848
- 和風居酒屋 えいと (3661) 7795
- すしの江戸久日本橋人形町店 (5614) 1239
- 地鶏と野菜料理 江戸路 (3668) 0018
- 寿司 江戸浜 (3669) 1781
- 串揚げ 絵丸 (3664) 6077
- 日本料理 おおいし (3668) 3019
- うなぎの和大田本店 (3666) 1799
- そば処 翁庵 (3666) 7656
- 回転寿司 海鮮三崎港 (5651) 2780
- ピアノバー かくれんぼ (3249) 6381
- ふぐ料理 かねまん (3666) 3717
- 立ち喰いそばきうち (6231) 1747
- うなぎ 長久川 (3661) 3932
- 人形町 きく家 (3664) 9032
- 下町の味 壱壽司 (3666) 1682
- 関西料理 人形町北浜 (3666) 3348
- ふぐ・旬料理 吉星 (3666) 9779
- やきとり 久助 (3639) 5409
- うなぎ 壱代川 (3666) 3197
- 和風料理 清濱田 (3666) 6468
- 磯そば・酒処 金碓庵 (3666) 4524
- 日本料理・酒処 串長 (3661) 7087
- 居酒屋 くじらい (3661) 1325
- すし処 彩旬 (3668) 1616
- お好み焼 さのや (3666) 4986
- ふぐ・一品料理 三栄 (3666) 8057
- お料理 旬彩 (3666) 0831
- 生そば 松竹庵 (3661) 3995
- 居酒屋 素材屋人形町店 (3664) 7730
- 相模茶屋 盛風力 (3808) 1134
- 鳥料理 玉ひで (3668) 7657
- 良喰家 だんまり (3249) 3741
- BAR 暖炉 (5847) 8588
- ちよだ 鮎 人形町店 (6681) 4278
- 築地銀だこ ハイボール酒場 (5651) 3151
- 天井 てんや人形町店 (3664) 4023

- 日本そば 東嶋屋 (3666) 6964
- 旬の味 十四郎 (3662) 0163
- SUSHI TOCHINO-KI (5643) 1144
- 寿司 中乃見家 (3669) 2250
- Basement Bar (5649) 3450
- 北の味紀行と地酒 北海道 (3667) 3255
- お好み焼・鉄板焼 松浪 (3666) 7773
- 牛めし 松屋人形町店 (5652) 5202
- 日本料理 人形町 萬菊 (5652) 3116
- すし 三崎丸 (5651) 1147
- 浜町 藝そば (3666) 6522
- 牛・桜鍋 大和 (3666) 7330
- 魚河岸料理 よし梅 (3668) 4069
- 牛井の 吉野家人形町店 (5645) 8139
- 鮎処 六兵衛 (3666) 7543

●レストラン・中華料理

- 中華 あつま軒 (3666) 1984
- イタリア料理 アル・ボンテ (3666) 4499
- レストラン アントレ (3669) 3080
- トラットリア アル・エマトーゴランデ (6661) 6676
- レストラン カサドール (3666) 8856
- 食屋 キラク (3666) 6555
- グリルツカサ (3666) 8997
- 西洋料理 ぐるとん (3668) 6732
- カレーハウス Coco壱番屋 (5695) 7760
- 洋食 小春軒 (3661) 8830
- シェ・アンド・レドゥ・サクレール (6228) 1053
- ピザ・アンド・ピストロ ジュンジーノ (5695) 0081
- 四川亭 (3664) 0304
- イタリア料理 シティウ水天宮前店 (3666) 0132
- 翠蓮 (3664) 0036
- ビーフかつれつ そよいち (3666) 9993
- レストラン テキサス (3664) 1234
- 炭火焼肉 燈花 (5641) 0291
- トラットリア サンマルツァーノ (3666) 3499
- 南欧食堂 Tonneau (5641) 1008
- 人形町らーめん いなせ (5640) 8817
- レストランバー BALLADE (3666) 8398
- 小皿イタリアン パロンドール (6206) 2164
- 中華そば 日高屋人形町店 (3664) 7485
- 焼肉レストラン 富士 (3666) 3205
- 紅虎餃子房 人形町店 (5614) 5305
- レストラン 芳味亭 (3666) 5687

- ハンバーガー 日本マクドナルド (5642) 7046
- 北京料理 明華園 (3666) 4501
- 焼肉 伊家 (5640) 8299
- 洋食 来福亭 (3666) 3895
- 中華料理 天下一
- 喫茶
- 喫茶去 快生軒 (3661) 3855
- NIHONBASHI CAFÉST (3665) 7007
- カフェ・ド・クリエ (3664) 6070
- カフェ・ドルチェ (3666) 3334
- 珈琲 千里軒 (3666) 6072
- コーヒー 高久 (3639) 3233
- ドールコーヒエ 人形町・目店 (5645) 8650
- 甘味処・お好み焼 初音 (3666) 3082
- カフェ ロイド (3661) 1423
- カフェレストラン ロン (3664) 0409

商処

●教養・趣味・生活

- 趣味のギフト 伊勢茂 (3666) 4039
- 刃物 とうふけや (3661) 4851
- auショップ 人形町店 (5614) 2145
- 遠藤電気商会 (3669) 6936
- 印章・ゴム印 大橋印房 (3666) 1935
- くま薬局 (5651) 2161
- 健ナビ薬局人形町 (5643) 5287
- 金券ショップ 甲南チケット (5623) 1170
- 佐野時計店 (3669) 2995
- 楊枝 さるや (3666) 3906
- 香老舗 松榮堂 (3664) 2307
- 清心丹薬局 (3666) 4828
- セラピーサーナ (5641) 1940
- 金券ショップ 大黒屋 (3663) 0733
- 大成堂薬局 (3666) 5718
- 文具のチシマ (3662) 1561
- 宝飾・時計 つのだ (3249) 7755
- 婦人服修理 つるや洋装 (3669) 6647
- 日用品ピデ企画 戸田屋商店 (3666) 5940
- 日本橋かきながら町クリニック (5651) 1361
- 人形町指圧リバーズ (3668) 4936
- 白洋舎日本橋店 (5651) 7933
- 花繁 (3666) 8716
- DPE バレットプラザ (5643) 2213

- ガス器具販売修理 日比野商店 (3666) 5890
- ヒラマツ靴店 (3666) 8979
- BOOKS PISMO (5623) 7203
- マッサージ 藤倉治療院 (3666) 3619
- ファミリーマート 水天宮前店 (5642) 0133
- 福住薬局 (3666) 3939
- 文教堂書店 (5652) 1769
- Body Sign (ボディサイン) (6661) 0880
- 毎日新聞日本橋販売所 (3666) 7320
- マツモトキヨシ (3639) 2556
- 白衣・ユニフォーム 丸富士 (3668) 5941
- 株式会社 三喜 (3666) 1762
- 生・造花典 ミソノ (3661) 0010
- 文具事務器 ミヤギ (3662) 6813
- モリヤフォトスタジオ (3666) 5658

●食品

- すき焼・割烹 人形町今半 (3666) 7006
- 京粕漬 魚久 (3666) 0048
- お茶の 共和園 (3666) 2050
- 小嶋屋酒店 (3666) 3527
- 和洋酒・食料品 小山酒店 (3669) 3881
- おにぎり コロナ人形町店 (3664) 2253
- 銘茶 佐七 (3667) 5659
- 須賀屋果実店 (3666) 9724
- 福神漬・漬物・鯖の薫製 酒悦 (5642) 0129
- 酒・洋酒・食品 新川屋佐々木酒店 (3666) 7662
- ドイツパンの店 タンネ (3667) 0426
- 京漬もの 近爲 (3639) 9439
- 佃煮 ちとせ屋 (3666) 3816
- 鳥近 (3666) 3600
- 日本橋海苔店 (5623) 1271
- 長谷川海苔店 (3666) 7381
- 浜町漬 浜乃院 (3639) 0231
- 富貴豆 ハマヤ (3668) 1886
- すき焼と肉の専門店 日山 (3666) 5257
- 豆腐 双葉 (3666) 1028
- 人形町 ベジアル25 (3665) 0250
- サンドウィッチパーラー まつむら (3666) 3424
- 惣菜おでん 美奈福 (3666) 3729
- 茶卸・甘味処 森乃園 (3667) 2666
- うまいもの揃い食料品店 わしや (3666) 5778
- 親子焼・玉子焼・焼鳥・地鶏の鳥忠 (3666) 0025
- 手焼せんべい 草加屋 (3666) 7378

- 名菓 千鳥屋 (5645) 2155
- 和洋菓子・煎餅
- 人形焼本舗 板倉屋 (3667) 4818
- 人形焼・瓦せんべい 人形町亀井堂 (3666) 6654
- 京菓子 玉英堂 (3666) 2625
- 京菓子司 壽堂 (0120) 480400
- おせん・おかき処 小藤屋 (3669) 7733
- ゼイタク煎餅 重盛の人形焼 (3666) 5885
- 洋菓子 シュークリー (5651) 3123
- 江戸菓子匠・茶寮 つくし (3664) 7357
- 花見せんべい (3666) 3990
- 京菓子司 人形町 彦九郎 (3660) 5533
- 和菓子 縫月堂 (3666) 6739
- 和菓子舗 三原堂本店 (3666) 3333
- 高級鯛焼本舗 柳屋 (3666) 1822

●不動産・金融・他

- アシスト30 (5643) 2031
- 菊弥不動産 (3669) 2526
- 興産信用金庫人形町支店 (3668) 5951
- ジェイ・ウオリス日本橋店 (6667) 8811
- 日本通運 東京支店 (5652) 6930
- 泰信不動産 (3666) 9672
- 不動産 宝や (3668) 0941
- 不動産管理 旅路 (3669) 8006
- 東京シティ・エアターミナル (3665) 7130
- 東京シティ信用金庫 日本橋支店 (3663) 8661
- 東京穀物商品取引所 (3668) 9009
- 不動産管理 なんや商店 (3669) 5277
- 不動産 ハルムシティ (3668) 0888
- 明治安田ビル (3669) 8480
- 柳屋不動産 (3272) 1441

美処

- きもの工房 いわさ (3666) 3704
- 京扇子 京扇堂 (3669) 0046
- 紳士婦人服 キリヤ洋品店 (3666) 5741
- リサイクル着物 人形町 ぐべに屋 (3666) 0649
- 下町おもしろ工芸館 (3664) 3780
- マタニティ専門 ジョリー (3666) 7219
- きもの今昔 甚右衛門 (3662) 3651
- カットハウス スペース (3666) 9540
- 滝上理容館 (3666) 4493
- 特選呉服 立花屋 (3666) 3644

- リサイクル着物 たんす屋人形町店 (3249) 0529
- 紳士洋品 チホリ・オノヤ (3661) 4009
- 東京メガネ日本橋店 (3661) 2906
- 近藤伝 藤柳苑 (6667) 8333
- ネクタイの中島 (3666) 1789
- 新感覚の染めと織り 錦や (3666) 5361
- 手づくりの店 日本橋ゆうま (3808) 1780
- 平成日本橋品店 人形町店 080 (6514) 0303
- 理容室 Feel Free (3666) 6789
- きもの 松ざわ (3666) 0630
- マリオンポート (3639) 3557
- マタニティ専門 美樹村 (3668) 0045
- ヘア・アパレル・メイク ヨシザワインク (5645) 5011

粋処

- 風呂敷専門店 唐草屋 (3661) 3938
- 美術陶芸 京雅堂 (3666) 5666
- 手ぬぐいのちどり屋 (5284) 8230
- つづら岩井商店 (3668) 6058
- 和楽器 ばち英 (3666) 7263
- こだわりのうつわ 紅とも (3667) 6030

愉処

- カラオケの鉄人 人形町店 (5643) 0008
- 住庄ぼてる (3661) 4603
- シティペンション ゼム (3661) 0681
- 東横イン日本橋人形町店 (3664) 1045
- ホテル 日本橋サイボー (3668) 2323
- パチンコ 正村遊技場 (3666) 6000
- ミュゼ浜口隔三・ヤマサコレクション (3665) 0251
- 明治座 (3660) 3900
- 人形町しまきりゅう創作人形館 (5649) 2133
- ロイヤルパークホテル (3667) 1111

公処

- 大観音寺 (3667) 7989
- 東京メトロ 水天宮前駅 (3249) 6226
- 東京メトロ 人形町駅 (3661) 1924
- 都営地下鉄 人形町駅 (3662) 5095
- 都営地下鉄 浜町駅 (3667) 8351